

スポーツ かわさき

No. 37



— 目 次 —

- 平成5年度体育功績者賞・優秀選手賞 ②
- 平成6年度第1回評議員会
ならびに理事会終わる ③
- 柏木進一氏逝去 ④
- 市制70周年記念式典行われる ④
- 優秀選手最年少・最高齢者プロフィール ⑤
- ジャパンウィークで日本武道の真髓を披露 ⑤
- バドミントン友好親善試合（瀋陽市） ⑥
- スポーツ心理学講座（第4回） ⑧
- 市制70周年記念サッカーフェスティバル ⑩
- 県総体、クレール射撃で初優勝 ⑪
- 市民体育大会記録集 ⑫
- 国体準備室だより ⑮
- わたしに名前をください（国体マスコット） ⑯

財団法人 川崎市体育協会

体育功績者賞 18名

優秀選手賞 (魚津賞)

平成5年度

個人 25名
団体 5チーム
が受賞



平成5年度の川崎市体育功績者賞ならびに優秀選手賞(魚津賞)受賞者が決まり、去る平成6年6月21日川崎市教育文化会館でその授与式が行われました。体育功績者18名、優秀選手賞受賞者は個人25名、団体5チームの過去最大となりました。いずれも高雲和也体育協会会長から賞状(トロフィー)が直接手渡され、その功を讃えられました。



「体育功績者賞」は平成元年度に制定されたもので、川崎市体育協会加盟団体およびその構成員の中から永年にわたり本市スポーツの普及、振興に顕著な功績を残された方々を選び表彰するもの。体協内に設けられる「選考委員会」の厳正な審査のもとで決められます。受賞者は次の方々。(敬称略)



「魚津賞」は、かつて本市のソフトテニス協会の会長として、永年にわたり本市スポーツの発展に多大な功績を残され、昭和51年に逝去された故魚津利氏からのご芳志のもとに、毎年度優秀な成績を挙げた選手・チームに対して、激励と今後の活躍を期待して贈られるものです。

・体育功績者賞

赤地 靖男(58) 陸上競技協会
 沢野 光崇(59) 野球協会
 大宮 清一(51) バレーボール協会
 石塚 光巳(65) バレーボール協会
 小胎 彰(58) バasketボール協会
 花木内敬雄(44) テニス協会
 中森 勝彦(55) ソフトテニス協会
 車 耕作(55) 柔道協会
 佐藤 圭作(79) 剣道連盟
 青木鉄次郎(74) 剣道連盟
 栗生正次郎(78) 弓道連盟
 浅見 桂子(58) 相撲連盟
 大箭 俊介(57) 山岳協会
 古木満里子(61) 水泳協会
 山本 信義(60) スキー協会
 前田 修二(49) サッカー協会
 佐名木 修(46) 少林寺拳法協会
 石川 滋(68) ハンドボール協会

・優秀選手賞(魚津賞)

個人の部

仲村 明(27)
 第77回全日本陸上競技選手権大会
 男子3,000m障害 2位

今村 文男(28)
 第77回全日本陸上競技選手権大会
 男子50km競歩 優勝

鈴木 賢一(27)
 第18回アムステルダムマラソン大会
 男子優勝

苅部 俊二(25)
 第77回全日本陸上競技選手権大会
 男子400m 優勝

中村 裕樹(18)
 平成5年度全国高等学校総合体育大会
 バドミントン競技 男子シングルス
 優勝

森山あづさ(11)
 グランプリ東アジアホープズ卓球大会'93
 団体戦 3位

岩見 務(18)
 第48回国民体育大会 剣道競技
 少年男子の部 3位

和田かよ子(47)

第29回全国身障者スポーツ大会
 アーチェリー競技
 女子30mダブルラウンド 2位

佐藤 清吾(24)
 第44回日本実業団水泳競技大会
 男子100m背泳 優勝

益永 祐司(33)
 第44回日本実業団水泳競技大会
 男子50mバタフライ 優勝

杉沢 毅志(25)
 第44回日本実業団水泳競技大会
 男子400m自由形 優勝

文字 信一(18)
 第44回日本実業団水泳競技大会
 男子100m平泳 優勝

茂木ゆかり(20)
 第44回日本実業団水泳競技大会
 女子50m背泳 優勝

平中 知子(20)
 第44回日本実業団水泳競技大会
 女子200m自由形 優勝

実原 史明(30)
 1993年度少林寺拳法国際大会
 一般4段以上の部 最優秀

坂梨 匡哉(28)	1993年度少林寺拳法国際大会 一般4段以上の部	最優秀
高橋 博光(18)	第48回国民体育大会 ハンドボール競技 少年男子の部	2位
阿部 展行(18)	第48回国民体育大会 ハンドボール競技 少年男子の部	2位
植松伸之介(18)	第48回国民体育大会 ハンドボール競技 少年男子の部	2位
黒沢 明仁(17)	第48回国民体育大会 ハンドボール競技 少年男子の部	2位
小林 真也(18)	第48回国民体育大会 ハンドボール競技 少年男子の部	2位
小見山忠嘉(18)	第48回国民体育大会 ハンドボール競技 少年男子の部	2位
中島 良太(18)	平成5年度全国高等学校総合体育大会 フェンシング競技 個人サーブル	2位
矢島 穰(62)	第26回全日本社会人体操競技選手権大会 男子2部(60歳代) 個人総合優勝	
大久保ひで(73)	平成5年度全日本シニアボウリング 選手権大会 マスターズ部門	優勝

団体の部

富士通水泳部男子リレーチーム	第44回日本実業団水泳競技大会 男子400mメドレーリレー	優勝
富士通水泳部男子リレーチーム	第44回日本実業団水泳競技大会 男子200mフリーリレー	優勝
NKK水泳部男子	第44回日本実業団水泳競技大会	男子総合優勝
NKK水泳部女子	第44回日本実業団水泳競技大会	女子総合優勝
川崎市役所	第21回全国実業団ボウリング三人制選手権大会	優勝

ボーンチエックキャンペーン

(骨密度測定)
骨粗鬆症予防啓蒙を目的

社団法人日本健康倶楽部は健康増進、体力づくりに貢献するため、「健康法」を啓蒙実践しておりますが、その活動の1つとして健康増進車をサテライト地域に出張させ、骨密度測定を実施して骨粗鬆症予防に役立たせています。今回、市体協でも初めて実施しました。7月7日(木)幸スポーツセンター横広場で特設テントと健康増進車を使い、事前申込みの20才～39才の女性の皆さんを中心に行なわれました。10時から17時までの間に103名が測定されましたが、この測定を通して参加者は、骨密度は食生活やライフスタイルで変わるという新たな認識を得て終了いたしました。

川崎野球協会 川崎卓球協会 川崎山岳協会 柏木進一会長逝く



本市及び県政、スポーツ界にあって、永年にわたり多大の功績を残された、柏木進一先生が、去る8月6日、心筋梗塞のため急逝されました。行年81才。葬儀は8月10日、川崎市砂子町の宗三寺で行われましたが、先生のご冥福を祈って、県内外のスポーツ界をはじめとし、各界各層から2千数百名の方々が参列されました。

先生は昭和27年川崎市議に初当選。県議会議員となり、以来10期40年の永きにわたり市、県政に多大の貢献をされた一方、スポーツ界他各種団体の会長を歴任され、それらの発展のため献身的に尽力されてこられました。平成10年の神奈川県国体選手強化に取り組んでいるさなかの急逝誠に残念であります。謹んで先生のご冥福をお祈りいたします。

平成6年度第1回

評議員会・理事会開催される

(財)川崎市体育協会の平成6年度第1回評議員会ならびに理事会が、去る6月21日、市教育文化会館で開かれました。席上では体協の平成5年度の事業報告・収支決算報告等が承認されたほか、役員を選任、平成5年度体育功績者と優秀選手・チームの表彰について、選手強化育成事業について、愛知国体の視察について、体協表彰規程の改訂検討委員会・スポーツ指導者派遣制度検討委員会の設置等について審議されましたが、その第1号から8号に亘る議案のすべてが全会一致で承認されました。

◇スポーツ指導者派遣制度検討委員会とは

生涯スポーツの時代となり、一般市民の方々へのニーズに合わせた「指導者」を、体協から派遣するという新しい制度を、いかに進めて行くかについて、その方策を纏めるための委員会です。8名の委員で構成されます。素晴らしい制度が出来るものとご期待下さい。

21世紀への飛躍誓う

川崎市制70周年記念式典行わる

表彰 個人 307名、団体92名
(財)川崎市体育協会も表彰される

川崎市制70周年の記念式典が市制記念日の7月1日、川崎区富士見の市教育文化会館で開かれました。記念表彰を受けたのは、Jリーグ初代チャンピオンのヴェルディや相撲の隆三杉関など399団体・個人。参加者1700人の出席で盛大に行われました。

式典第一部の記念表彰では市のイメージアップに著しく貢献された方、産業や社会福祉などの分野で地道な活動等をなされ、市の発展に貢献された方、地域社会に貢献された方等の表彰されました。

体育関係分野では、団体(財)川崎市体育協会、個人 神山 力(卓球協会)、狩屋一夫(卓球協会)保健衛生の向上に貢献された川崎市水泳協会が表彰され、他に、高雲和也 体育協会会長、柳川三五 体育協会副会長、近藤正美 相撲連盟会長、佐藤忠次 バレーボール協会会長、山田吉三郎 合気道連盟会長が、他分野で表彰を受けました。



体育関係表彰者 推薦理由

神山 力 川崎卓球協会副会長
大正2年3月27日生 81才
昭和9年より川崎卓球協会の選手として活躍、太平洋戦争で中断していた市卓球協会を戦後21年3月に復活させ卓球の発展に尽力、同時に神奈川県卓球協会復活にも協力、以来理事長として昭和55年まで永きにわたり努められた。その功績により文部大臣表彰、勲五等双光旭日賞を叙勲されている。日本卓球協会参与、神奈川県卓球協会参与、川崎卓球協会副会長の要職に在りその功績が認められ受賞された。



狩屋一夫 川崎卓球協会会長代行
大正10年8月16日生73才
戦後21年3月の川崎卓球協会の復活時は神山氏に協力23年より理事長、副会長、会長代行と、現在なお尽力されている。又市体育協会設立時より評議員、理事、監事として現在に至っている。市卓球協会会長代行、県卓球協会副会長として活躍している功績が認められ受賞された。

優秀選手受賞者 最年少者 最高年齢者のプロフィール

森山あづささん 11歳 卓球



カトウメモリアルスポーツクラブに所属する森山さんは8歳で父や姉の卓球を真似て始める。卓球の形はシェークハンドだが、バックハンドでのスピード

あるスマッシュなども得意とする。

県大会の成績は小2で2位。小3、小4、小5で優勝。又、全国ホープス団体で3位。東アジア団体で3位と好成績を続けている。

これらの成績は卓球の練習もさることながら、体力トレーニングも怠ることのない真面目な取り組みから生まれたものと思う。

卓球センスが優れているので将来世界で活躍できる有望な選手である。

大久保ひでさん 73歳 ボーリング



健康管理で始めたボーリングも23年になる。

週5回の練習を続け、JBCのリーグ戦や協会の大会に全て出場している。

戦績は全日本シニア選手権でH3、H5に優勝。全日本新人ボーリング選手権でS63年に優勝。レディーストーナメントでH6年には準優勝。NHK杯全日本選抜選手権でH6年には最高齢者として出場するなど数多くの好成績を残す。

昨年は病床のご主人の看病を続けていられたが、そのご主人から年末の大会の出場を勧められ、決勝まで勝ち進みました。ご主人は大会翌日に再入院、そして帰らぬ人となりました。このように美しく、そして悲しみを越えて得た成績は人生の金メダルとも言えましょう。

アメリカ・ジャパンウィーク

アメリカジャパンウィークは、日米両国の友好親善・相互理解を深めようという目的で、1991年から毎年1回、アメリカで1都市が選ばれ、大々的に「日本」を紹介する1週間の大イベントです。

経済摩擦に関する日米メディア合戦をよそに、アメリカでは大好評。このおかげで親日感情が高まるといわれるほどのものです。

第1回はユタ州ソルトレイクシティ、第2回は1992年オレゴン州ポートランド、第3回アリゾナ州フェニックスで開催。第4回のことしはミネソタ州ミネアポリス市で開かれました。

(財)日本武道館、日本武道協議会、(財)国際親善協会では州政府からの参加要請を受け、毎年、日本武道代表団を編成し派遣して、日本武道の真髄を披露するとともに、武道を通して国際交流を図り、所期の目的達成に寄与しています。

本年、川崎市在住の次の3氏が全日本代表として選ばれ、そのメインイベントであるマーシャルツアーデモンストレーション(演武会)に参加しました。

関 昭二(44歳) 高津区在住 合気道
井上 弘(33歳) 麻生区在住 少林寺拳法
波江野充(30歳) 中原区在住 空手道

3氏は代表団総勢74名と共に、去る6月1日に成田を出発。翌2日、州議会やミネアポリス市庁舎等を訪問した後、3日の演武会にのぞみました。

演武会では集まった約1万人の大観衆の中、日本の伝統文化である武道の技と心の真髄を存分に披露すべく、弓道、柔道、剣道、なぎなた、空手道、合気道、少林寺拳法等が熱一杯に繰り広げられました。各武道の演武には観客から惜しみない拍手が続き、午後9時からの閉会式では、観客は総立ちになって熱い拍手が鳴りやみませんでした。

4日から6日にかけては、地元市民との交流稽古会。人種の垣根を超えてアメリカ国民との友情の絆(きずな)が、このスポーツを通じて結ばれました。

なお、このジャパンウィークは武道だけでなく

川崎在住の3氏 日本武道の真髄を披露

ミネソタ州ミネアポリスで絶賛の拍手

広く日本の伝統文化(書道・生花・音楽等)も紹介され、ミネアポリス市では「街にジャパングがやって来た」として、1週間で約10万人の観客で各会場が賑わったとか。3氏は6月8日に帰国されました。



空手の演武 右：波江野氏(市立商高勤務)



閉会式 観客に手を振る演武者たち



閉会式 総立ちで拍手を送る観客

中国瀋陽市と友好親善深まる

中国選手の強さに 大きな刺激…… 社会体育国際交流事業

平成6年度の社会体育国際交流事業は、川崎市バドミントンチームを友好都市中国・瀋陽市へ派遣して交流試合を行いました。

選手団は富士通と旭化成から成る川崎市のベストメンバーで、田中正誼団長以下総勢17名。去る9月19日に成田発、北京を経由して友好都市瀋陽に入りました。

女子団体戦シングルス第1試合・同第2試合
瀋陽2-($\frac{11-0}{11-0}$)-0川崎 瀋陽2-($\frac{11-1}{11-2}$)-0川崎

女子団体ダブルス第1試合・同第2試合
瀋陽2-($\frac{15-2}{15-12}$)-0川崎 瀋陽2-($\frac{15-0}{15-0}$)-0川崎

女子団体シングルス第3試合
瀋陽2-($\frac{11-0}{11-1}$)-0川崎

男子団体戦シングルス第1試合・同第2試合
瀋陽2-($\frac{15-1}{15-2}$)-0川崎 瀋陽2-($\frac{15-6}{15-0}$)-0川崎

男子団体ダブルス第1試合・同第2試合
瀋陽2-($\frac{15-6}{18-15}$)-0川崎 瀋陽2-($\frac{15-1}{15-4}$)-0川崎

男子団体シングルス第3試合
瀋陽2-($\frac{15-6}{15-3}$)-0川崎



9月20日、午前中に瀋陽故宮を見学して、午後から、今回の試合会場となる瀋陽市体育運動学校の体育館で初練習を行いました。選手たちは初めての体育館での練習にとまどいながらも、2時間の練習に汗を流しました。

午後5時、艾(アイ)副市長が選手のホテルまで出向いて下され、盛大な歓迎会を催して下さいました。歓迎会には副市長をはじめとして、外事弁公室の薫さん、姜さん、体育運動委員会の林主任さんなど大勢の要人が出席され、選手たちも長旅の疲れを忘れたかのような様子でした。

遼寧省チームと初対戦

翌21日、午前9時から遼寧省チームとの第1回の交流試合にのぞみました。男女別シングルス3試合、ダブルス2試合でしたが、残念ながら次のような成績で、いわば完敗という状況でありました。



遼寧省チームは年齢が大変に若く、また、中にはナショナルチームに入るような選手もいて、技術・体力ともに素晴らしいものがありました。

0対10で敗れるという結果に終り、選手たちは翌日の瀋陽市チームとの対戦に備え、試合後も練習するという気の入れようでした。

瀋陽市チームとの対戦は白熱化

22日、瀋陽市のチームとの試合を行いました。この瀋陽市チームは、正確にいうと遼寧省チーム

の中の、瀋陽市出身者を集めたもので、実力的にも高いチームでしたが、年齢別の対抗戦ということで40才代の選手も参加して行われました。

川崎市の選手たちも徐々に実力を発揮しはじめ僅差の試合が続き白熱した内容になってきました。

・男子個人戦

シングルス第1試合 同第2試合

瀋陽0 - $\begin{pmatrix} 6-15 \\ 0-15 \end{pmatrix}$ - 2川崎 瀋陽2 - $\begin{pmatrix} 15-2 \\ 15-10 \end{pmatrix}$ - 0川崎

同第3試合

瀋陽2 - $\begin{pmatrix} 15-10 \\ 5-15 \\ 15-4 \end{pmatrix}$ - 1川崎

・女子個人戦

シングルス第1試合 同第2試合

瀋陽2 - $\begin{pmatrix} 11-3 \\ 11-2 \end{pmatrix}$ - 0川崎 瀋陽2 - $\begin{pmatrix} 11-1 \\ 11-0 \end{pmatrix}$ - 0川崎

同第3試合

瀋陽2 - $\begin{pmatrix} 11-1 \\ 11-1 \end{pmatrix}$ - 0川崎



・男子ダブルス第1試合 同第2試合

瀋陽2 - $\begin{pmatrix} 15-7 \\ 15-2 \end{pmatrix}$ - 0川崎 瀋陽0 - $\begin{pmatrix} 8-15 \\ 4-15 \end{pmatrix}$ - 2川崎

・女子ダブルス第1試合 同第2試合

瀋陽2 - $\begin{pmatrix} 15-5 \\ 15-0 \end{pmatrix}$ - 0川崎 瀋陽0 - $\begin{pmatrix} 15-14 \\ 15-2 \end{pmatrix}$ - 2川崎

・混合ダブルス第1試合 同第2試合

瀋陽2 - $\begin{pmatrix} 15-4 \\ 15-4 \end{pmatrix}$ - 0川崎 瀋陽2 - $\begin{pmatrix} 15-5 \\ 15-2 \end{pmatrix}$ - 0川崎

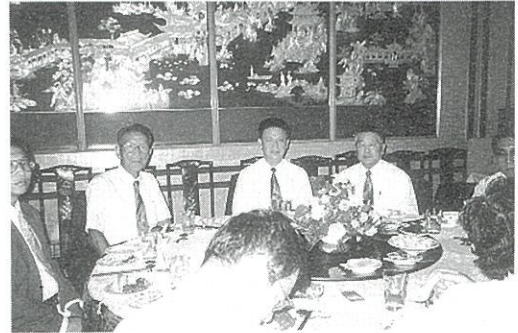
結果、この日の試合はトータル3対9で瀋陽市の勝利となりましたが、試合後、両市の選手の健闘を称えて記念カップが贈られました。

さよならパーティー

23日は瀋陽市滞在最後の日、市近隣の視察とい

うことで、本溪水洞という鍾乳洞を見学して来ました。

選手たちはその規模の大きさに驚嘆し、写真を撮ったりして、交流試合の疲れも忘れて楽しい時を過ごしました。



午後6時からの「さよならパーティー」は、昨年川崎市を訪れた卓球チームの瀋陽服装進出口集団と体育運動委員会の共催で行われました。劉団長さんや曲さん、服装進出口集団副社長さん、任さんなど、一年ぶりの対面となり、選手たちもすっかり意気投合。乾杯（カンペー）カンペーの連続。瀋陽市の皆さんの温かい心遣いに感激を覚えたひと時でした。

24日、早朝の便で北京に移動し、万里の長城や故宮を見学。25日に無事帰国しました。

中国スポーツの強さを実感

今回の訪問で特に感じたことは、一貫したスポーツ教育に支えられた中国のスポーツ競技のレベルの高さでした。才能ある選手は、小さい時から体育の専門学校に入り、集中的にトレーニングして行く徹底した教育は、個人の才能を引き出し、伸ばしていく一つの手段として、着実にその成果をあげているようです。

選手たちは、交流試合を通して中国選手の強さを実感し、強い刺激を受けたようでしたが、この体験をこれからの練習に生かして行って欲しいものです。

そしてまた、このたびの訪問を機として、スポーツを通じての両市市民の触れ合い・相互理解がますます深まり、友好都市の関係がさらに発展して行くことを期待したいと思います。

(文責 スポーツ課 沼田正美)

集中力を測る

順天堂大学スポーツ健康科学部
助教授 中島 宣行

前回は、スポーツにおける集中力について、ナイデファーの理論をご紹介しました。今回は彼の考案した集中力テストを用いて選手たちの集中力を実際に測定する方法についてお話したいと思います。

1 ナイデファーの集中力テスト

ナイデファーの集中力テストのオリジナルは、144項目から構成されており、直接集中力に係わっている6尺度、それらの解釈を修正するための2尺度、対人関係上の行動特性に係わりのある9尺度、合計17尺度の特性について測ることができます。17尺度の内容は以下の通りです。

BET(Broad External Attentional Focus)

一度に多くの外的刺激を効果的に処理することができる。

OET(Overloaded by External Stimuli)

外界の刺激によって気が散るためにミスをする傾向。

BIT(Broad Internal Attentional Focus)

さまざまな領域の考えや情報を効果的に統合することができ分析的な思考に優れている。

OIT(Overloaded by Internal Stimuli)

一度に多くのことを考えすぎるためにミスをする傾向。

NAR(Narrow Attentional Focus)

必要に応じて注意の及ぼす範囲を効果的に狭くすることができる。

RED(Reduced Attentional Focus)

注意の幅を狭くしすぎることによって、課題遂行に必要な情報までも見逃してしまうことによってミスをする傾向。

INFP(Information Processing)

活動性、熱狂性を表し、多くのことを外界

に求める傾向。

BCON(Behavior Control)

衝動性、反社会的な傾向。

CON(Control Scale)

自分自身をコントロールする能力。

SES(Self Esteem)

自己価値観や自信を表す。

P/O(Physical Orientation)

身体的な競争場面への好みの程度。

EXT(Extroversion)

外向性。

INT(Introversion)

内向性。

IEX(Intellectual Expression)

知的表現ができる能力。

NAE(Negative Affective Expression)

他人に対して、怒りや嫌悪感などの否定的感情を表す傾向。

PAE(Positive Affective Expression)

他人に対して、好意や好感などの肯定的感情を表す傾向。

以上が測定しようとしている17尺度の内容である。時間的な余裕があれば、この144項目を用いるのが望ましいが、BETからREDまでの集中力に直接関係している52項目だけを実施することも可能です。今回は紙面の制約から、その簡易版ともいえる12項目から成るテストをご紹介しておきますので、ご指導されている選手たちやご自身が選手のかたたちは一度ためしてみてください。

2 短縮版集中テスト

① 実施方法

1～12の各項目を一読し、文章のような場合が自分に生じる度合いによって、「ぜんぜんない」、「めったにない」、「ときどきある」、「かなりある」、「つねにある」の中から一つ選びます。

② 採点

各項目に対する回答を以下のように得点化する。

ぜんぜんない = 0点 めったにない = 1点
ときどきある = 2点 かなりある = 3点
つねにある = 4点

次に、BETからREDまでの6尺度の得点を算出します。項目番号の1と2の得点を加えたものが、BETの得点となります。以下、3と4はOE

集中力のパターンに関する調査

T, 5と6はBIT, 7と8はOIT, 9と10はNAR, 11と12はRED関連の項目です。

③ プロフィールの作成

プロフィールの尺度毎に各自の得点を○印で囲みます。隣同志の○印を線で結び、折れ線グラフを作ります。Tスコア50のラインが各尺度の平均を示しています。60以上はその傾向が強いこと、70以上は非常に強いことを意味しています。逆に40以下、30以下はその傾向が弱い、非常に弱いことを表しています。集中力を効果的に発揮している選手は、BE T, BIT, NARの得点が高く、OET, OIT, REDの得点が低いプロフィールを示します。あなたの結果はどうでしたか。

我々が以前、サッカー選手、陸上競技長距離

選手、バレーボール選手の集中力スタイルを比較した研究では、サッカー選手の特徴はBETの強さに表れ、複雑な場面で多くの刺激を効果的に処理する能力に優れていることがわかりました。長距離選手では、BITとNARの得点が高く、いろいろなことを効果的に考え、自己鍛練の能力があり、注意の幅を効果的に狭める能力が高いことを意味しています。バレーボール選手は、これら2群ほど顕著な特徴はみられませんでした。NARが比較的高いことから、注意の幅を効果的に狭める能力が高い傾向があると解釈しました。

今回は、比較的多くみられるパターンとその特徴をご紹介します。効果的な集中力の発揮の実現に向けての対応策をお話したいと思います。

氏名				男・女
生年月日	昭和 年 月 日	年齢	満 歳	ヵ月
種目		ポジション		
所属チーム		経験年数		
調査年月日	平成 年 月 日			

つねにある
かなりある
ときどきある
めったにない
ぜんぜんない

- 1 サッカーのゴール前の混戦場面やバスケットボールの展開といった複雑な状況を素早くみきわめることができる。 □ □ □ □
- 2 大勢の子供が遊んでいるのを見て、一人一人のやっていることがよくわかる。 □ □ □ □
- 3 周囲に気をとられて、試合に集中できない。 □ □ □ □
- 4 サッカーやラグビーの試合の観戦中、同時に多くのプレーヤーのいろいろな動作を見きわめられないことがある。 □ □ □ □
- 5 一試合見ただけで、各プレーヤーのおおよそのプレーのスタイルがわかる。 □ □ □ □
- 6 試合前のミーティングで、今日の戦術について理論的に考える。 □ □ □ □
- 7 自分の味方にミスが多くなると、それに気をとられ自分のプレーに集中できなくなる。 □ □ □ □
- 8 試合中、色んなことが頭に浮かんできて、一つのプレーに決められない。 □ □ □ □
- 9 試合中、特にある一つの点に注意を払い続けることができる（例えば、「フットワークに注意する」など）。 □ □ □ □
- 10 試合中、味方や監督の声を聞き分けることができる。 □ □ □ □
- 11 一つの考えや感情にとらわれて、ミスをしてしまう。 □ □ □ □
- 12 試合中、あるプレーヤーだけを見てしまい、他のプレーヤーたちの動きを見落とすことがある。 □ □ □ □

		8				
90		7		8	8	
80	8	6	8	7	7	8
	7		7			
T 70	6	5	6	6	6	7
						6
60	5	4	5	5	5	5
	4					
50	3	3	4	4	4	4
40	2	2	3	3	3	3
30						2
	1	1	2	2	2	1
20			1	1	1	
10						
	BET	OET	BIT	OIT	NAR	RED
	プロフィール					

ヴェルディと川崎の子たち交流

市制70周年記念サッカーフェスティバル



川崎市・川崎市教育委員会の主催する「川崎市制70周年記念・川崎サッカーフェスティバル」が、7月2日、富士見公園川崎球場で開催されました。当日は、気温33度に及ぶ猛暑の下、3万人を超える親子連れやサッカーファンが集まり、武田選手をはじめとした川崎ヴェルディの人気選手たちとミニゲームなどをとおして交流し、夏の午後の半日を楽しみました。

2時30分過ぎ、川崎市消防音楽隊による吹奏楽によりスタート。開会式では、高橋清市長が「わたしもヴェルディのファン。市民とともに一生懸命応援します。」と挨拶。スタンドから大きな「同感」の拍手が沸き起こりました。これに代えてヴェルディの松木監督は「後期こそ優勝します。あしたから頑張ります」と力強く、集まった市民ファンに語りました。



続いての「始球式」では、高橋市長がラモス選手にパス、ラモス選手はそれを受けて、武田選手に、武田選手がみごとにゴール。リーグ戦の本番ゴールの再現に満場のファンは大喝采でした。

開会行事に引き続き、市内の小中学生10人で構成されたチームと代わる代わる対戦するミニサッカーが行われた。汗にまみれて懸命にボールを追う少年選手にスタンドからも盛んな声援が飛び交いました。

また、頭と足とを使ってサッカーボールをどれだけ長い時間キープ

できるか、その時間の長さを競うリフティング競技や、ヴェルディの選手をそれぞれアンカーに加えたチームによるドリブルリレーなどが行われました。



これら各種の競技に参加した市内のサッカーチームの小中学生は合わせて約1200人に及びました。彼らは、テレビでいつも声援しているヴェルディの人気選手のラモス選手、武田選手、ビスマルク選手、そしてとりわけ地元川崎区の富士見中学出身でゴールキーパーの藤川選手らと一緒に一つのボールで競技できたことに大きな感激とすばらしい思い出をもてたこと、ますますサッカーがおもしろく好きになったこと、わけてもヴェルディの大変なファンになったことなどを興奮気味にそれぞれ語っていました。

この企画は、ヴェルディのファン感謝デーも兼ね、川崎市の市制70周年を記念して川崎市・川崎市教育委員会が主催して行われたものです。記録的な猛暑の中、会場に集まった市民のファンは一緒にサッカーを楽しみ満足そうでした。

川崎市クレール射撃で初優勝！総合は第4位

第45回神奈川県総合体育大会終わる



平成6年2月の冬季大会（スキー）で幕を開けた第45回県総合体育大会が、8月の夏季大会（ソフトボール、水泳）9月の秋季大会（クレール射撃、バスケットボール、バレーボール、サッカー、バドミントン、陸上、卓球、柔道、剣道、弓道）を終え、その幕を閉じました。

今年は例年になく暑い夏ではありましたが、夏季大会のソフトテニスと秋季大会の軟式野球があいにくの天候により中止となり、また夏季大会のソフトボールも3回戦までしか実施できないなど不完全燃焼の大会となりました。

川崎市にとっても、例年上位入賞を果たしていた軟式野球やソフトテニスの中止が大きく響き、総合で昨年を下回る第4位という不本意な結果に終わりました。

そんな中であって、水泳男子、陸上男子、バレーボール女子、サッカーそしてクレール射撃が優勝に、水泳総合、陸上総合、バレーボール総合、バドミントンが準優勝に輝きました。特にクレール射撃は初優勝ということで来年以降も大いに期待される



ところでは。

今回は、クレール射撃とバドミントンの結果をお知らせします。

〈クレール射撃〉

部門	選手名	得点	総計	順位	得点	順位点
T 1	伊藤	81				
T 5	小熊	85	243	2	36	
T 8	川村	77				
						73
S 1	大橋	47				
S 4	関口	43	128	1	37	
S 7	佐々木	38				

この大会で、大橋選手が部門別第1位となるなど、初優勝に大きく貢献しました。



〈バドミントン〉

1回戦	本市	5—0	小田原市
2回戦	本市	5—0	座間市
準決勝	本市	3—0	海老名市
決勝	本市	0—3	横浜市

最後になりましたが、今大会に出場された選手・監督の皆さんのご尽力に感謝するとともに、来年度は各競技団体が種目別優勝は勿論のこと、総合優勝の奪還に向けてより一層精進されるよう期待したいと思います。

平成6年度

市民体育大会記録集

春季市民大会・市制記念大会

市体協加盟種目団体では春季市民体育大会、市制記念体育大会、秋季市民体育大会の三大大会を実施しています。ことし行われた春季市民大会と市制記念体育大会での各種目の結果の中からいくつかを拾って見ました。

春季市民体育大会の記録

ラグビー 6月11日～6月27日

☆一般の部 (16チーム)

準優勝 三菱化工機 81-14 麻生クラブ
日石化学 24-3 南高OB

決勝 三菱化工機 30-8 日石化学

☆高校の部 (8チーム)

準決勝 桐光学園高校10-7 法政二高校
県立新城高校47-7 県立川崎北高校

決勝 桐光学園高校55-3 県立新城高校

ゲートボール 6月2日 (60チーム)

準優勝 戸田 裕子 (新城) 29.70点

第三位 佐伯 理恵 (生田) 28.45点

☆中学男子の部 (56名)

優勝 松原 英実 (中野島) 23.20点

準優勝 森 渉 (東橋) 21.35点

第三位 手嶋 啓介 (有馬) 20.40点

☆中学女子の部 (36名)

優勝 館石 郁実 (向丘) 23.40点

準優勝 白田 奈美 (向丘) 23.20点

第三位 森本さやか (有馬) 19.10点

市制記念体育大会の記録

陸上 6月18日～19日 (優勝者の記録)

(一般の記録には高校生も含まれています)

☆一般男子

100m 角屋 優一(MAC) 11秒15

400m 古谷健一郎(生田高) 51秒24

1500m 渡辺 俊介(法政二高) 4分09秒90

5000m 須田 航(法政大) 14分57秒95

走高跳 大森 崇史(帝京大) 1m90

走幅跳 宮川 雅道(川崎陸協) 6m92

三段跳 丸山 伸一(法政二高) 12m44

砲丸投 柳沢 宏(法政大) 14m25

円盤投 原 信一(東京学芸大) 45m46

槍投 梶 裕之(川崎南OB) 55m22

☆一般女子

100m 上野 安美(麻生高) 13秒02

400m 上野 安美(麻生高) 61秒26

3000m 野中 三鈴(生田東高) 10分36秒49

4×100m (多摩高) 54秒17

走高跳 藤枝 春美(国士館大) 1m45

走幅跳 福永 裕子(多摩高) 5m08

砲丸投 八木橋夏子(高津高) 8m53



優勝 八幡町 福寿会

準優勝 ゴールドスターズ

第三位 丸子寿会

敢闘賞 京町チーム

体操 5月8日 (個人の順位)

☆高校男子の部 (12名)

優勝 市川 直樹(法政B) 44.45点

準優勝 長谷川敦哉(法政B) 42.20点

第三位 安達 拓也(生田) 39.35点

☆高校女子の部 (12名)

優勝 竹生 佳代(多摩A) 30.55点

円盤投	高橋 孝子(麻生高)	27m58
槍 投	土谷 理恵(百合丘高)	26m22
☆中学男子		
100m	千葉 康智(宮内中)	11秒24
800m	中原 義弘(野川中)	2分07秒81
3000m	野島 大輔(田島中)	9分29秒80
4×200m	菊池, 永口 井口, 渡辺(塚越中)	1分36秒19
走高跳	辻野 裕希(有馬中)	1 m70
走幅跳	亀山 剛誠(東橋中)	6 m16
砲丸投	井口 勝雅(塚越中)	12m84

☆中学女子		
100m	林 香苗(中野島中)	13秒14
1500m	板倉 由美(有馬中)	5分04秒28
3000m	板倉 由美(有馬中)	11分09秒18
4×200m	五十嵐, 小林 貝塚, 原添(御幸中)	53秒03
走高跳	戸村 理恵(塚越中)	1 m50
走幅跳	岡田ひとみ(御幸中)	4 m69
砲丸投	増田 麗子(御幸中)	10m71

軟式野球(16チーム参加)

優勝	富士通川崎	最高殊勲賞	大貫祐仁
準優勝	川崎市水道局	敢 闘 賞	小原真二
第三位	日石化学	首位打者	榎 典和
第四位	三菱石油		

バレーボール

☆男子一部(16チーム)			
優勝	NKK京浜	第三位	NEC中研
準優勝	東芝多摩川	第三位	富士通川崎

☆男子二部(24チーム)			
優勝	三菱自工東京	第三位	東芝小向
準優勝	清麗会	第三位	NEC川枝

☆女子の部(12チーム)			
優勝	川崎選抜	第三位	Aクラブ
準優勝	TOP S	第三位	MIRINDA

バスケットボール

☆一般男子(56チーム)			
優勝	富士見ブルブ	第三位	日本石油
準優勝	NEC玉川	第三位	南高クラブ
☆一般女子(17チーム)			
優勝	東芝柳町	第三位	洗足エラーズ
準優勝	NEC玉川	第三位	川崎南OG

☆高校男子(22チーム)			
優勝	桐光学園高校	第三位	県立麻生高校

準優勝 県立多摩高校 第三位 県立生田東高校
☆高校女子(18チーム)

優勝	県立麻生高校	第三位	県立住吉高校
準優勝	洗足学園高校	第三位	県立川崎高校

なぎなた

☆演技の部(19組)

優勝	篠原 夏子・阿部 照子
準優勝	佐藤与志乃・見口由希子
第三位	永井加奈子・一柳 弘子
第三位	松本 順子・佐藤 令子

☆団体戦の部(10チーム)

優勝	野口うき子・酒井さい子・清水ひろみ
準優勝	川浪美代子・伊藤アサ子・本田ひろ子
第三位	松本 順子・横山 悦子・小笠原明美

ハンドボール 6月12日・7月3日 市立川崎高



準決勝

コスモクラブ12棄権 - 0 石栗送球会
柏葉クラブ 18 - 14 荏原会

決勝

柏葉クラブ 27 - 15 コスモクラブ

バドミントン

☆男子A級ダブルス(39組)

優勝	和久井・及 川(富士通)
準優勝	前田・舟木(個人)
第三位	奥野・及 川(東芝タンガロイ)
第三位	青木・佐藤(富士通)

☆男子B級ダブルス(54組)

優勝	志村・丸山(個人)
準優勝	井上・井上(スロウイングクラブ)
第三位	浅沼・岩下(川夜会)
第三位	角・小杉(SBC)

☆男子35歳以上ダブルス(10組)

優勝	円谷・緑川(東燃化学)
準優勝	近藤・堀越(個人)
第三位	柳田・庄司(東芝浜川崎)

第三位 山本・上野(東芝テスコ)

☆女子ダブルス(28組)

優勝 堺・渡部(旭化成)

準優勝 宮田・久保田(個人)

第三位 畔田・義間(旭化成)

第三位 安藤・成島(東燃化学)

ボウリング

☆20歳代(25名)

優勝 宮本 奈津(JBC社会人) 1,371点

準優勝 浦瀬 浩一(JBC実業団) 1,328点

第三位 秋庭 智幸(タチバナボール)1,258点

☆30歳代(31名)

優勝 斉藤 光男(ABBF) 1,287点

準優勝 鈴木 高(JBC実業団) 1,286点

第三位 登坂 利治(向ヶ丘遊園ボウル)1,269点

☆40歳代(23名)

優勝 鎌田 孝一(JBC社会人) 1,302点

準優勝 西村 和子(京急ボウル) 1,266点

第三位 百軒 宏和(向ヶ丘遊園ボウル)1,227点

☆50歳代(35名)

優勝 金子 静子(京急ボウル) 1,266点

準優勝 平賀 仁志(京急ボウル) 1,247点

第三位 立花登紀子(京急ボウル) 1,196点

ゴルフ(144名)

☆男子 優勝 福得 利雄 NET 69.8

準優勝 宮脇 正博 NET 70.2

☆女子 優勝 横山里恵子 NET 72.6

準優勝 高橋 順子 NET 73.8

剣道(632名)(7月3日)

試合種目	優勝	準優勝
7歳の部	田中 雄也	野本 一良
8 "	稲葉 美穂	鈴木 浩晃
9 "	今鷹 粹	土屋 旬平
10 "	金子 浩之	佐良土賢樹
11 "	為我井直人	鈴木 智美
12 "	引地 直人	森山 隆司
13 "	新井 康司	鈴木 豊
14 "	中野 真英	今井 寿
15 "	青木 裕介	加藤 大助
16 "	鈴木 卓	小宮 義実
17,18"	阿部 隆幸	鷹箸 亮
青年"	澤田 修次	横山 一弥
中学女子	高井 芙美	桐明 若子
高校・一般女子	武井 香利	若山 康子

弓道(7月3日 富士見公園弓道場)

個人の部 高校4, 一般89 計93名

団体の部 28団体

☆霞的の部

団体 優勝 川崎弓道会 石渡, 摩庭, 小口

準優勝 NEC 嶋田, 平部, 谷

第三位 川崎弓道会 小橋, 建石, 栗生

個人 優勝 川崎弓道会 小口常雄

準優勝 東燃化学 宇治野辰八

第三位 NEC 福井真裕美

☆色の部

団体 優勝 川崎弓道会 小橋, 建石, 栗生

準優勝 NEC 小室, 吉澤, 沢本

第三位 NKK 吉田, 堀越, 高橋

個人 優勝 川崎弓道会 建石喜久雄

準優勝 NEC 吉澤茂幸

第三位 NKK 吉田 尚



関東少年少女ハンドボール大会
川崎大戸クラブが準優勝

第10回関東少年少女(小学生)ハンドボール大会が、川崎市体育館・市立川崎高校体育館を会場に7月23・24日の両日開催され、少女の部で神奈川代表の川崎大戸チームが多くの地元の声援に支えられて準優勝を獲得した。なお、少年の部に出場した地元「むさし」チームは、準優勝した埼玉代表の大宮北小学校チームに第1回戦で敗退した。結果は次のとおり。

少年の部

優勝 守谷クラブ(茨城)

準優勝 大宮北小学校(埼玉)

第3位 塩山ハンドボールドスポーツ少年団(山梨)

筑波学園ハンドボールクラブ(茨城)

少女の部

優勝 大宮北小学校(埼玉)

準優勝 大戸クラブ(神奈川)

第3位 日吉台バード(千葉)

坂戸ハンドボールNC(埼玉)

国体準備室だより

今回は 国民体育大会について
書いてみました。

国民体育大会(以下、国体という)は、終戦翌年昭和21年にその第1回が京阪神で開催されました。以来毎年、各都道府県を会場に開かれています。本県では、昭和30年に第10回大会を開催していますので、平成10年の国体は2回目のものとなります。

国体は、各都道府県を代表する選手により繰り広げられる国内最大のスポーツの祭典で、その目的は、スポーツを振興し、国民の健康づくりと体力の向上をはかり、併せて地方におけるスポーツと文化の発展等におかれています。

1. 国体マークと炬火リレー

やや右傾斜の赤色の火炎を紺青の円帯で囲んだマークで、昭和22年の石川国体から使用されています。この国体のシンボルマークは、開催の都道府県が作成するシンボルマークには必ずデザインされています。



炬火リレーは、昭和32年の静岡大会から始まりました。本市においても幾つかのコースに分け、リレーする予定です。

2. 季別大会

国体は3つの大会からなっています。

- (1) 冬季大会～スキー、スケート等3競技
1～2月中旬に、スキー、スケート等3競技が行われます。
- (2) 夏季大会～水泳、ボウリング等5競技
9月中旬に、水泳、ボウリング、ヨット等5競技が行われます。



かながわ・ゆめ国体

おお汗 こ汗

(3) 秋季大会～陸上、野球、テニス等31競技

10月中旬に、陸上競技、バスケットボール、柔道など31競技が行われます。

以上3季の大会の正式競技の得点を都道府県対抗で競います。

3. 公開競技とデモンストレーション としてのスポーツ行事

前述した正式競技の他に、公開競技として高等学校野球とスポーツ芸術(注)の2競技が行われますが、これらは正式競技と異なり、都道府県対抗の得点の対象とはなりません。

また、デモンストレーションとしてのスポーツ行事は、第43回の京都国体から、開催都道府県内に居住する人を対象に、市民に親しまれているスポーツをとりあげ、一人でも多くの人に参加できる開かれた国体を目指して行われています。

本県では来たる神奈川県国体で、綱引き、ゲートボール、パワーリフティング、少林寺拳法の4競技を開催します。

(注)スポーツ芸術

スポーツと芸術の合成語で、一般的にはジャンルとして確立されていませんが、スポーツ芸術を一つの文化行事としてとらえ、テーマをスポーツに限定することなく、芸術作品の展示や演劇などをはじめ、民俗芸能とかスポーツ用品のデザイン、競技を行うための音楽なども含まれています。

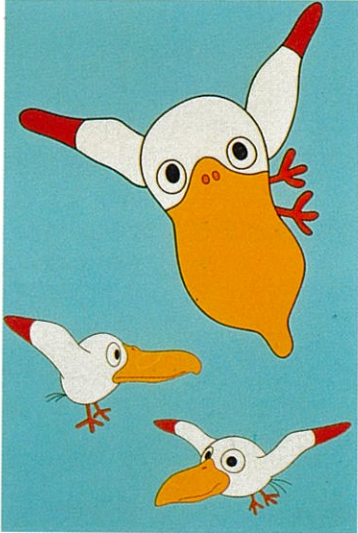
かながわ ゆめ国体
マスコットの名称

私に、名前をつけて下さい。次ページに詳しい応募規程と賞金などが載っています。どうぞどしどし応募して下さい。1人何点でも結構です。

募 集 中 !
た だ い ま

わたしに名前を下さい。

「かながわ・ゆめ国体」のマスコットが生まれました。



平成10年に本県で開催される「かながわ・ゆめ国体」のマスコットが生まれました。愛きょうのある目で未来を見つめたカモメが、夢をのせて飛んでいるようにデザインされています(イラスト

は1羽のカモメを3方向から見たものです)。作者はアニメーション演出家の宮崎駿さんです。

全国の皆さんに可愛いがってもらえるような名前をつけてください。

【応募方法】官製はがきに住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号と愛称(1枚につき1点を明記し、12月20日までに県国体準備局かながわ・ゆめ国体マスコット愛称募集係＝〒231-88 TEL045(201)1111内線4614～5へ。応募は1人何点でもかまいませんが、自作、未発表のものに限ります。なお、最優秀作品はかながわ・ゆめ国体マスコット愛称として使用し、その著作権、商標権その他一切の権利は第53回国民体育大会神奈川県準備委員会に帰属するものとします。また応募作品は返却しません。

【賞】最優秀賞1点＝賞状、賞金10万円、ゲーム島旅行をペアでプレゼント。優秀賞3点＝賞状、賞金2万円。

谷口 浩 広報委員急逝する！



本市体育協会広報委員として「スポーツかわさき」の企画・編集に活躍された谷口 浩氏(43歳)が去る8月15日心不全のため急逝されました。

谷口氏は市サッカー協会の育成委員長を務め、地域の少年サッカーの指導に熱心に取り組む一方、「スポーツかわさき」でも掲載記事の企画・編集に持前のセンスを発揮し、読みやすい記事・読まれる紙面作りに取り組んでいました。

広報委員会としても貴重な人材を失うこととなり、遺憾の念に堪えません。谷口氏の冥福を祈るとともに、故人の情熱を引き継いで、今後とも親しまれる「スポーツかわさき」を目指していきたいと思います。

編集後記

体協事務局に専用FAX入るご利用を！ 044-556-5559

●広報委員の谷口さんが急逝された。「その原稿わたしがやります」といつも積極的だった谷口さんがこの編集の席にいない。ご冥福を祈る！

●今回は16頁になった。記事が多く、前号までの12頁建てでは納まりきれない。体協の活動が活性化したことのあるしだと思う。

スポーツかわさき 第37号

—発行—

平成6年10月25日

(財)川崎市体育協会

〒210川崎市幸区戸手本町1-11-3

川崎市幸スポーツセンター内

電話 044-556-5511 FAX 556-5559

—編集— (財)川崎市体育協会 広報委員会

—印刷— (株)第一サンエー(電話222-2356)

〒210川崎市川崎区榎町3-9